

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-68292(P2006-68292A)
 【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報2006-011
 【出願番号】特願2004-255424(P2004-255424)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 1 A
A 6 3 F	5/04	5 1 2 C
A 6 3 F	5/04	5 1 2 V

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種の絵柄が周方向に付された円環状のリールを有し、該リールを回転させることにより絵柄の変動を行う絵柄変動装置と、

該絵柄変動装置よりも遊技機前方に位置し、前記リールに付された絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする前面パネル部と、

該前面パネル部の下方に位置し、遊技媒体としての遊技球を貯留する球貯留部とを備え、

遊技に際し、前記球貯留部に貯留された遊技球が所定数取り込まれることを条件として前記絵柄の変動の開始が許容される構成の遊技機において、

前記前面パネル部と前記球貯留部との間に前記前面パネル部よりも遊技機後方側に位置する奥壁部を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技機設置設備に取り付け固定される外枠と、

該外枠に対して開閉可能に取り付けられる本体部と、

該本体部に取り付けられ、複数種の絵柄が周方向に付された円環状のリールを有し、該リールを回転させることにより絵柄の変動を行う絵柄変動装置と、

該絵柄変動装置よりも遊技機前方に位置し、前記リールに付された絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする前面パネル部と、

該前面パネル部よりも下方に位置し、遊技媒体としての遊技球を貯留する球貯留部と、

該球貯留部から所定数の遊技球を受け入れさせるべく操作される入力操作手段と、

前記リールの回転を開始させるべく操作される始動操作手段と、

同リールの回転を停止させるべく操作される停止操作手段とを備え、

前記入力操作手段の操作による遊技球の受け入れと前記始動操作手段の操作とを条件に前記リールの回転を開始するとともに、前記停止操作手段が操作されると前記リールの回転を停止し、停止後に前記前面パネル部から視認できる有効位置に所定の絵柄が位置していることを条件として遊技球の払い出しを行う構成とした遊技機において、

前記前面パネル部を平面状とし、該前面パネル部と前記球貯留部との間に前記前面パネ

ル部よりも遊技機後方側に位置する奥壁部を設け、

さらに前記リールが前記外枠よりも前方及び後方に張り出すように前記絵柄変動装置を配設したことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記球貯留部を、遊技機正面から見て左右方向に延びた構成とし、該球貯留部の上方であって、その左右方向の全体に渡って沿うようにして前記奥壁部を設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記奥壁部を、前記球貯留部の上方であって、該球貯留部の前方縁部から後方縁部との間に設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記奥壁部に遊技の進行に伴う遊技情報を表示する表示部を設け、前記前面パネル部と前記奥壁部との間に該前面パネル部から前記奥壁部にかけて下方に傾斜した傾斜部を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記球貯留部に貯留されている遊技球を排出させるために操作される排出スイッチを前記奥壁部に設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。